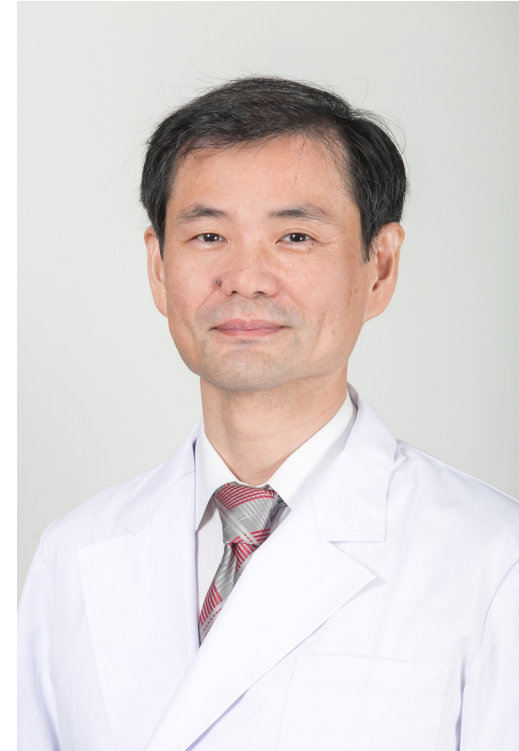


海外留学のすゝめ アメリカ医学研究・教育21年の経験から



第45回金剛祭 医学展講演

2018年11月4日

角田 郁生

近畿大学医学部微生物学講座教授

Homepage:

<http://www.med.kindai.ac.jp/microbio/nihongo.html>

E-mail: itsunoda@hotmail.com

海外留学のすゝめ

- 自己紹介 対象
- 医学英語は必要か？ 医学生
- 医学研究留学とは？ 若手医師
- 日米の医学部のシステムの違い 留学医師・研究者
- アメリカで教授になるには？ アメリカの医学教育 助教から学長
- 近大医学部留学プログラム 医学部志望者・医学生

略 歴

- 1990年 東北大学医学部卒、大学院入学・神経病理専攻
この間2年間神経内科研修(福島県立医大)
- 1994年 大学院修了、医学博士学位取得
- 1994年 東北大学助手 (神経病理学)
- 1995年～ ユタ大学神経内科学・病理学講座
博士研究員、リサーチ・アソシエイト、講師
- 1996年 **ECFMG** 取得
- 2005年 アシスタント・プロフェッサー (研究室開設)
- 2009年～ ルイジアナ州立大学微生物学・免疫学講座
アシスタント・プロフェッサー
- 2015年～ 神経内科学講座兼任
- 2015年～ アソシエイト・プロフェッサー (**テニユア、終身雇用**)
- 2016年4月～ 近畿大学医学部微生物学講座教授



角田郁生

ルイジアナ州立大学
シュリーブポート

2009年～2016年 7年



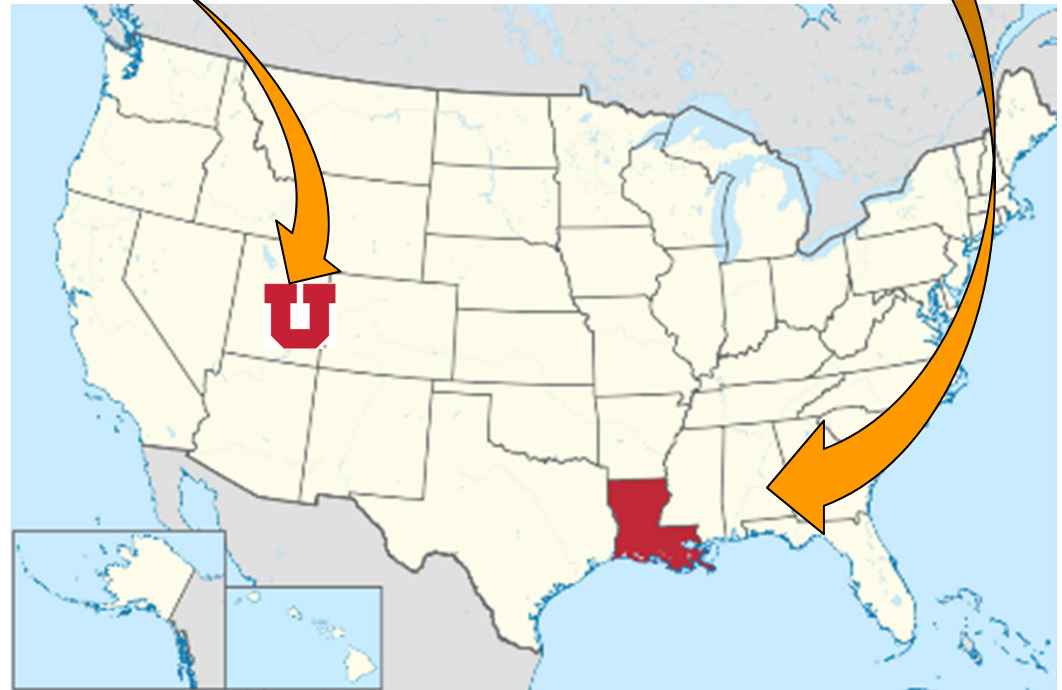
近畿大学 2016年4月～
KINDAI UNIVERSITY

1995年～2009年 14年

ユタ大学
ソルトレイクシティ



LSU Health
SHREVEPORT



近畿大学医学部微生物学講座

5

多発性硬化症 **Multiple Sclerosis (MS)**、心筋炎、神経ウイルス学、神経免疫学、バイオインフォマティクス、腫瘍免疫、腸内細菌、ピロリ菌



スندانル・カドカ
ネパールからの
大学院生
2018年10月来日



尾村誠一助教
米留学6年

佐藤文孝助教
米留学7年

崎山奈美江
秘書

藤田貢准教授
米留学5.5年

朴雅美講師
米留学3.5年



● 荒野の狼 ベスト100レビュー

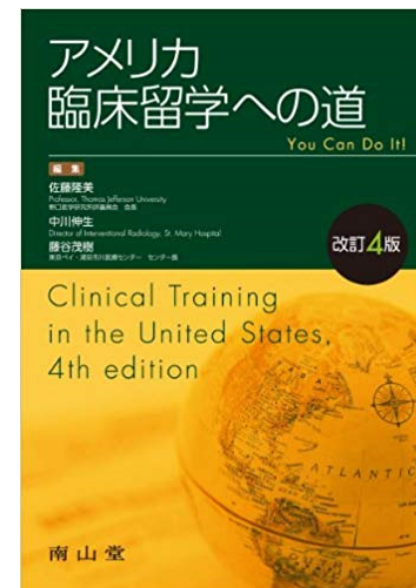
★★★★★ 研究留学の準備から終了後までを成功談と失敗談を交えて紹介した留学希望者・留学中の研究者必携の書 海外の日本人コミュニティも紹介

2016年12月4日

2016年12月発行の研究留学（特にアメリカの医学関係）についてUJA(海外日本人研究者ネットワーク)が編集したものの。執筆者は、UJA会長で自身もアメリカに留学し現在アメリカで独立している佐々木敦朗先生が多くの章を担当しているが、複数の執筆陣が成功談のみならず失敗談も書いているのが魅力。「実験医学」連載「UJA Presents留学のすゝめ」全8回に加筆修正を加え単行本化したもの。内容は、第1-6章が留学準備編で、留学先の選び方、助成金の獲得方法、留学希望先への手紙・履歴書・推薦書の書き方が実例も含めて紹介。第7-10章は留学開始～留学中編で、生活のセットアップ、研究室内外の人間関係、家族での留学などについて。第11-14章は留学後期～終了編で、日本とアメリカでの職探し、企業就職術について、第15章ではアメリカの大学院のシステムなどについて紹介。付録として、「世界各地の日本人研究者コミュニティ」を紹介している。本書の執筆陣が、ハーバード大学を中心としたボストンの医師・研究者が多く、日本人が比較的多い恵まれた地域ではあることを反映して、米国の東西の大都市のコミュニティの紹介が多いが、それ以外のドイツ、シンガポール、中国、シドニーのものや、規模が10名の「近大・ルイジアナ州立大学国際化同窓会」のような小さなものもURLも含めて紹介しているので、本書から、これらのコミュニティの連絡先を得ることができるのも魅力。医学留学関係の最新の書が少ないこともあり、留学予定者のみならず、留学中の研究者にも1) 帰国、2) 米国に留まる、3) 製薬会社などへの就職などの選択肢が紹介されており、おすすめ。また、読み物としても面白いコラムが多く、アメリカの研究事情や日常生活のことも、読みやすく書かれているので、留学を考えていない人にも楽しめる構成。

26人のお客様がこれが役に立ったと考えています

👍役に立った | コメント | 違反を報告



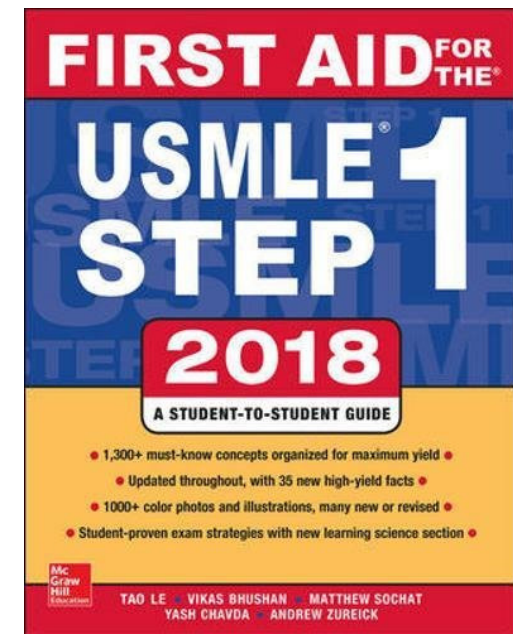
海外留学のすゝめ

- 自己紹介 対象
- 医学英語は必要か？ 医学生
- 医学研究留学とは？ 若手医師
- 日米の医学部のシステムの違い 留学医師・研究者
- アメリカで教授になるには？ アメリカの医学教育 助教から学長
- 近大医学部留学プログラム 医学部志望者・医学生

米国臨床留学にはECFMGが必要



- ECFMG: Educational Commission for Foreign Medical Graduate: **米国で外国人医師が臨床をする資格**
- 米国医師国家試験 (USMLE: United States Medical Licensing Examination)
- 近大新カリキュラムはこの受験資格(国際認証)を得るために作られた
- **日本: 63人合格(2015年)**
- Step 1 基礎医学
 - 解剖学、生化学、生理学、病理学、微生物学、免疫学、行動科学(Behavioral sciences)
- Step 2 臨床医学
 - CK: clinical knowledge 臨床知識
 - CS: clinical skills 臨床技能
- Step 3 総合的臨床プロセスとケースシミュレーション
 - レジデントを一年終えてから受験



2017年版
近大医学部図書館蔵

EDUCATIONAL COMMISSION for FOREIGN MEDICAL GRADUATES

CERTIFIES THAT

IKUO TSUNODA

HAS SATISFIED ALL THE REQUIREMENTS OF THE COMMISSION,

SUCCESSFULLY PASSED ITS EXAMINATIONS

AND HAS BEEN AWARDED THIS CERTIFICATE.

CERTIFICATE NUMBER 0-449-653-5

MEDICAL EXAMINATION

BASIC SCIENCE JULY 17, 1990

CLINICAL SCIENCE JULY 18, 1990

ENGLISH EXAMINATION

VALID THROUGH

CERTIFICATE NUMBER
0-449-653-5
ENGLISH EXAMINATION
April 27, 2002
VALID INDEFINITELY



Robert Buchanan Sr.
CHAIRMAN, BOARD OF TRUSTEES

Henry S. Jany, M.D.
PRESIDENT, CHIEF EXECUTIVE OFFICER

DATE ISSUED OCTOBER 18, 1996

111C-17 救急外来に日本語の話せない68歳の外国人男性が来院した。対応した臨床修練外国医師が診察と検査を行い記載した診療録の一部を示す。

Presenting complaint:

Abdominal pain at the left lower quadrant.

History of presenting complaint:

Sudden onset of sharp pain at the left lower abdomen 3 days ago.

Associated with nausea and chills.

Examination:

Temperature 37.2°C.

No pallor or jaundice.

Generalized abdominal distension with abdominal tenderness and localized rebound tenderness at the left lower quadrant. Bowel sounds are reduced.

No tenderness or mass on rectal examination.

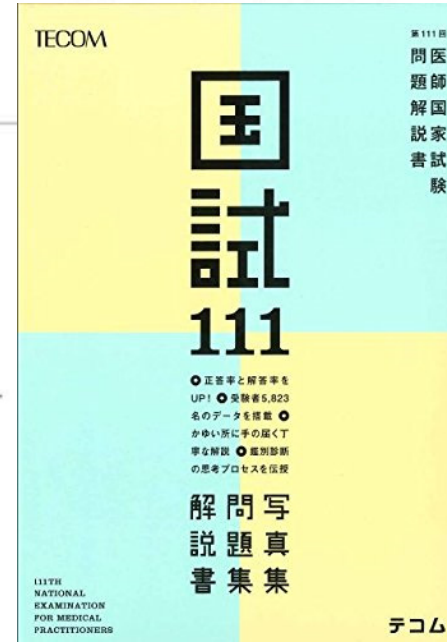
Investigation:

WBC count: 11,300/ μ L. CRP: 9.8 mg/dL.

CT: multiple small pouches with thickened bowel walls of the sigmoid colon.

診断はどれか。

- a Crohn's disease
- b Sigmoid volvulus
- c Acute appendicitis
- d Sigmoid diverticulitis
- e Meckel's diverticulosis



2017年¹⁰ 国試 はじめて 英語問題

第111回
問医
題師
解国
説家
書試
験

Colon

k'əʊlən(英国英語)
kóʊlən(米国英語)



主訴：左下腹部痛

現病歴：3日前から左下腹部に、吐き気と悪寒を伴う突然の疼痛を自覚。

現症：体温 37.2℃。貧血や黄疸を認めない。

腹部は全体に膨満しており、左下腹部に圧痛と局所的な反跳痛を認める。腸雑音は低下している。直腸診で圧痛はなく、腫瘤を触知しない。

検査：白血球数：11,300/ μ L, CRP 9.8 mg/dL

CT：S状結腸に肥厚した腸壁を伴う多数の突出を認める。

鑑別診断

左下腹部痛からは腸疾患が疑われ、その経過から、急性の炎症性疾患と考えられる。CTで憩室の存在が認められ、憩室炎と診断が確定する。

選択肢考察

選択肢についても和訳を掲げる。a：Crohn病、b：S状結腸軸捻転、c：急性虫垂炎、d：S状結腸憩室炎、e：Meckel憩室。上記より正解はdとなる。

× a, × b, × c, ○ d, × e

解答率

a 0.4%, b 8.5%, c 1.5%, d 87.5%, e 2.1%

確定診断

S状結腸憩室炎

ポイント

New England Journal of Medicine の MGH case report などに目を通すことが、この種の問題に対する良いトレーニングになるだろう。

参考文献

MIX 266 朝 1039 YN A109 みえる消 193

正解

d LEVEL 

正答率 87.5%

受験者つぶやき

- ・ Meckel 憩室を選択肢に入れたのは国試委員のやさしさでしょうか。
- ・ 選択肢まで英語で度肝抜かれました。病変が左ということで引っ掛け選択肢が切れるんですが……。最後の決め手は接尾辞-itis が炎症を表すって記憶。単語丸ごとじゃなくとも接尾辞だけでも学んでおくと良いかもしれませんね……。
- ・ S状結腸に多くの袋と書いてあったのでS状結腸憩室を選びました。

2018年 国試 英語問題 二問

112B-32 救急外来に日本語を話せない40歳の外国人女性が来院した。病院に勤務している外国人医師が英語で医療面接と身体診察とを行い、記載した診療録の一部を示す。

Presenting complaint :

Severe lower abdominal pain.

History of presenting complaint :

Sudden onset of right lower abdominal pain 6 hours ago.

Pain has been gradually worsening.

Slight nausea but no vomiting or diarrhea.

Last menstruation was 9 weeks ago.

She noticed vaginal spotting* 3 days ago.

Past medical and social history :

Appendectomy at 18.

Married.

Examination :

Temperature 36.3°C.

Right lower abdominal tenderness without rebound tenderness.

Bowel sounds are reduced.

* vaginal spotting (少量の性器出血)

可能性の高い疾患はどれか。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| a Crohn's disease | b Ectopic pregnancy |
| c Pelvic inflammatory disease | d Premenstrual syndrome |
| e Ureterolithiasis | |

第
112
回
問題
解説
書
医師
国家
試験
解説
書

112th National Examination for Medical Practitioners

国
試
112

アプローチ

- ① 40歳の女性, lower abdominal pain → 生殖年齢の女性の下腹部痛
- ② Sudden onset of right lower abdominal pain → 突然発症の右下腹部痛
- ③ Slight nausea but no vomiting or diarrhea → 軽い悪心があるが, 嘔吐や下痢はない。
- ④ Last menstruation was 9 weeks ago → 最終月経が9週間前であり妊娠の可能性
- ⑤ Appendectomy at 18 → 18歳の時に虫垂切除施行済み

鑑別診断

「アプローチ」①より産婦人科疾患, 消化器疾患, 泌尿器科疾患などを念頭に置いて鑑別診断を行う。③や⑤から胃腸炎や急性虫垂炎などの消化器疾患は否定的である。一方④で述べたとおり, 現在妊娠している可能性が高いと考えられることから産科疾患に伴う急性腹症の可能性が高く, 異所性妊娠などを念頭に診察を行う必要がある。

確定診断

異所性妊娠の疑い

選択肢考察

- × a 下痢などの症状がなく, 発症様式からも積極的には疑わない。
- b 最終月経が9週間前であることから異所性妊娠(右卵管妊娠)が最も疑わしい。
- × c 急激な発症であり, また発熱を伴っていないことから, 骨盤内炎症性疾患は否定的である。
- × d 月経前症候群であれば, これまでの月経前にも同様の症状がみられたはずである。
- × e 尿管結石を積極的に示唆する所見は乏しい。まずは産科疾患を念頭に置くべきである。

解答率

a 0.3%, b 96.5%, c 0.9%, d 1.5%, e 0.8%

ポイント

問題文がしっかりと理解できれば設問としては容易であろう。妊娠反応, HCG 定量検査, 経陰超音波検査などを行い, 診断を確定することになる。

正解

b **正答率 96.5%**

▶参考文献 MIX 320 チャート産 162

受験者つぶやき



- ・ d, eは意味がわからなかったです。
- ・ この問題自体はほとんど pregnancy がわかるかどうかだけの問題だと思いますが, 過去問を解くときは症候だけでもしっかりわかるとかなり解きやすくなると思うので, 症候中心に覚えてました。
- ・ 「Sudden」 「Last menstruation」 「vaginal spotting」 から b を選びました。
- ・ 今年の英語の問題は簡単でホッとしました。知っているワードだけでも落ち着いて拾いましょう。

112E-31 北米での医学会参加のため搭乗していた旅客機内でドクターコールがあり対応した。目的地の空港のスタッフに情報提供した方が良いと判断し、乗務員に伝えたところ、「所見をメモして欲しい」と依頼され記載した文面を示す。

A 78-year-old female passenger has developed swelling of her left lower leg towards the end of a long-haul flight. She does not complain of any pain at rest. She has pitting edema of her left lower leg, but no color or temperature changes are observed. Calf pain is induced on dorsiflexion of her left foot. Because she suffers from shortness of breath, the possibility of pulmonary embolism should be considered, and transfer to an appropriate hospital is advised.

原因として考えられるのはどれか。

- a Acute kidney injury
- b Deep venous thrombosis
- c Femoral neck fracture
- d Heart failure
- e Peripheral arterial disease

アプローチ

以下に全文の意識を載せる。英文が正確に理解できれば答えは容易であろう。

78歳女性の乗客が、長距離飛行の終盤ごろに左下腿の腫脹を呈した。安静時痛の訴えはない。左下腿に圧痕性浮腫を認めているが、色調の変化や熱感はない。左足を背屈させた際に下腿の痛みが誘発される。呼吸困難を呈しているため、肺血栓塞栓症が疑われ、適切な病院への搬送が勧められる。

選択肢考察 各選択肢についても和訳を掲げる。

- × a 急性腎障害
- b 深部静脈血栓症
- × c 大腿骨頸部骨折
- × d 心不全
- × e 末梢動脈疾患

解答率 a 0.2%, b 98.7%, c 0.1%, d 0.6%, e 0.4%

確定診断 深部静脈血栓症

ポイント

肺血栓塞栓症はエコノミークラス症候群という名前で知られる疾患でもあることから、解答は難しくないであろう。国際化に伴い渡航者数は増加しており、本問のような事態に遭遇する機会も以前よりは珍しくなくなった。医師として勤務を始めるにあたり、実際に機内に搭載されている医療器具や薬品などについて知っておくことや、起こりやすい疾患（意識障害、呼吸器疾患、嘔気・嘔吐など）について見聞を深めておくことも重要であろう。

正解 b **正答率** 98.7%

▶ 参考文献 MIX 220

受験者つぶやき



- ・ pitting edema や long-haul flight など、キーワードの単語だけ拾えば答えられます。
- ・ 長いフライトによる深部静脈血栓ですね。
- ・ 「旅客機」「left lower leg」「possibility of pulmonary embolism」でbを選びました。
- ・ 北米へ向かう飛行機という時点でエコノミー症候群では…？と予想しました。

weblio 英和辞典・和英辞典 1087万語収録!

英和辞典 英語例文 英語類語 共起表現 英単語帳 英語力診断 英語翻訳 英会話 スピーキングテスト 優待特典 キヤ

ターボ検索 OFF ON

thrombosis と一致する

Weblio 辞書 > 英和辞典・和英辞典 > 英和辞典 > thrombosisの意味・解説

シェアする G+ いいね! ツイート 広告を消す

意味 例文 (143件) 類語 共起表現

広告

- カンプ制作をより素早く
Adobe Dimension CCでカンプやパッケージデザインが簡単に アドビシステムズ株式会社
- 少人数クラスで徹底指導
専門知識も習得できる豊富な講座 本気で翻訳を学ぶならサン・フレア sunflare.com/academy

thrombosisとは

主な意味 **血栓症**

音節 throm·bo·sis 発音記号・読み方 / θrɒmbóʊsɪs (米国英語), θrɒmb'əʊsɪs (英国英語) /

thrombosisの 変形一覧	名詞: thromboses(複数形)
thrombosisの 学習レベル	レベル: 13

スピーキングテストを受ける

研究社 新英和中辞典での「thrombosis」の意味

▶ thrombosis

音節 throm·bo·sis 発音記号・読み方 / θrɒmbóʊsɪs | θrɒmb'əʊsɪs /

名詞

(《複数形》) 音節 -ses 発音記号・読み方 / -sɪːz /)不可算名詞 [具体的には 可算名詞]【医学】血栓症.

- cerebral thrombosis 脳血栓症.



Thrombosis
 血栓症
 発音記号
 [θrɒmbóʊsɪs]

医学英語のWebsite

17

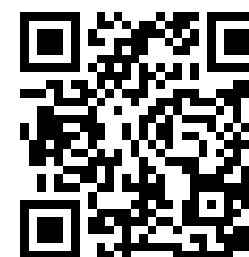


- Medical Dictionary 英語 発音あり 医学用語の解説が充実

<http://medical-dictionary.thefreedictionary.com/>

- weblio 日本語 発音あり 医学用語の数は限られる

<https://ejje.weblio.jp/>



- アルク 英辞郎 日本語 発音記号のみ 医学用語は限られる

<https://www.alc.co.jp/>



- Dictionary.com 英語 発音あり 医学用語は限られる

<http://www.dictionary.com/>



海外留学のすゝめ

- 自己紹介
- 医学英語は必要か？
- 医学研究留学とは？
- 日米の医学部のシステムの違い
- アメリカで教授になるには？ アメリカの医学教育
- 近大医学部留学プログラム



Powered by
FC2携帯変換
閉じる



Like Share You and 9 others like this.



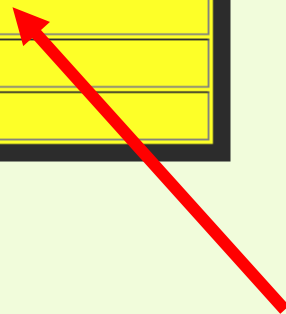
Kindai (Kinki) University Faculty of Medicine

Department of Microbiology

Kindai-LSU Multiple Sclerosis Research Team

近大-ルイジアナ州立大学多発性硬化症研究グループ

- トップ
- Kindai-LSU多発性硬化症研究チーム
- 心筋炎とは
- メンバー
- 写真
- 業績集
- 動画
- リンク
- ブログ
- 授業



English 日本語



近畿大学微生物学講座メンバー (左から右): 角田郁生教授、尾村誠一助教、崎山奈美江実験助手、朴雅美講師、藤田貢准教授、佐藤文孝助教、エリカ・ペディオ留学生

近畿大学医学部微生物学講座

<http://www.med.kindai.ac.jp/microbio/nihongo.html>

近畿大学医学部微生物学講座 (旧細菌学講座) は、大阪府大阪狭山市にある近畿大学医学部 (Kindai University Faculty of



Kindai-LSU Multiple Sclerosis Research Team

Create Page @Username

- Home
- About
- Photos
- Events
- Videos



Liked Message More Send Email

近大多発性硬化症リサーチ・チーム

Kindai-LSU Multiple Sclerosis Research Team July 7

以下は、近大医学部医学総論で、角田郁生微生物学教授が紹介した15分の多発性硬化症から奇跡的に復活した林屋こん平師匠の高画質の動画。医学部1年生の医学生さんに見てもらいましたが、ほとんど全員から感動したとコメントをいただきました。

http://www.dailymotion.com/.../x24ybwv_%E6%9E%97%E5%AE%B6%E3%



VISITOR PO

15 Th Sufer Fr

Unlike

チャランポラン 林家こん平 多発性硬化症との泣き笑い2000日 闘病記



Powered by
FC2携帯変換
開じる

Like Share You and 9 others like this.



Kindai (Kinki) University Faculty of Medicine

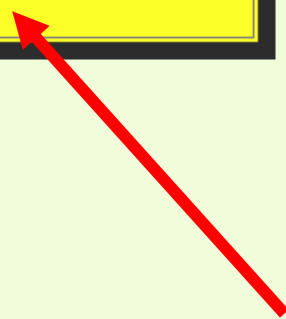
Department of Microbiology

Kindai-LSU Multiple Sclerosis Research Team

近大-ルイジアナ州立大学多発性硬化症研究グループ



- トップ
- Kindai-LSU多発性硬化症研究チーム
- 心筋炎とは
- メンバー
- 写真
- 業績集
- 動画
- リンク
- ブログ
- 授業



English 日本語



近畿大学微生物学講座メンバー (左から右): 角田郁生教授、尾村誠一助教、崎山奈美江実験助手、朴雅美講師、藤田貢准教授、佐藤文孝助教、エリカ・ペディオ留学生

近畿大学医学部微生物学講座

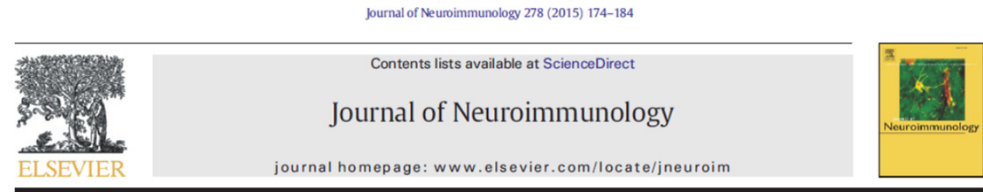
<http://www.med.kindai.ac.jp/microbio/nihongo.html>

近畿大学医学部微生物学講座 (旧細菌学講座) は、大阪府大阪狭山市にある近畿大学医学部 (Kindai University Faculty of

海外留学のすゝめ

- 自己紹介 対象
- 医学英語は必要か？ 医学生
- 医学研究留学とは？ 若手医師
- 日米の医学部のシステムの違い 留学医師・研究者
- アメリカで教授になるには？ アメリカの医学教育 助教から学長
- 近大医学部留学プログラム 医学部志望者・医学生

アメリカ研究留学の例 博士研究員:ポスドク Postdoctoral Fellow 川合英一郎先生の場合



Organ-specific protective role of NKT cells in virus-induced inflammatory demyelination and myocarditis depends on mouse strain



Eiichiro Kawai ^{a,b,1}, Fumitaka Sato ^{a,b,c,1}, Seiichi Omura ^{a,b,c}, Nicholas E. Martinez ^{a,b}, Pratap C. Reddy ^d, Masaru Taniguchi ^e, Ikuro Tsunoda ^{a,b,c,*}



仙台こども病院小児科医
研究歴ゼロ 独身 2011年9月 面接

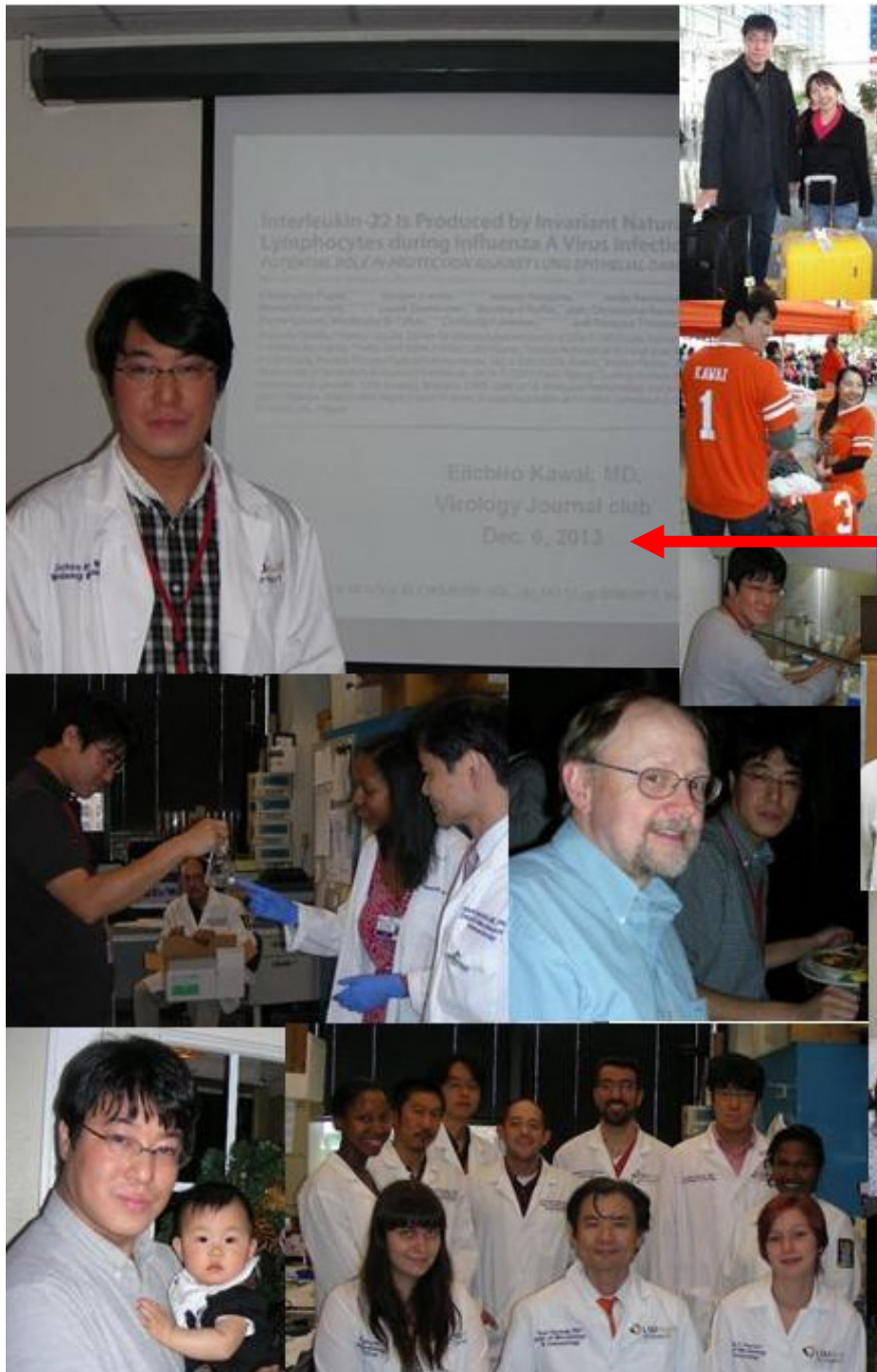
2012年2月



ポスドクとして留学



2014年3月 留学終了



渡米
2012年2月

ボランティア

学会発表

研究

家族



ウイルス性炎症性脱髄およびウイルス性心筋炎マウスモデルにおけるNKT細胞の臓器特異的な役割

医学博士
取得

著者	川合 英一郎
学位授与機関	Tohoku University
学位授与番号	11301乙第9298号
URL	http://hdl.handle.net/10097/00096907



2018年7月
東北医科薬科大学
小児科講座
川合英一郎助教

[View author presentation](#)



Organ-Specific Protective Role of NKT Cells in Virus-Induced Inflammatory Demyelination and Myocarditis Depends on Mouse Strain

Eiichiro Kawai, MD, Ikuo Tsunoda, MD, PhD

Journal of Neuroimmunology

8 slides, 03:47 min

This presentation has not been peer-reviewed.
Copyright © 2014 Elsevier B.V. All rights reserved.



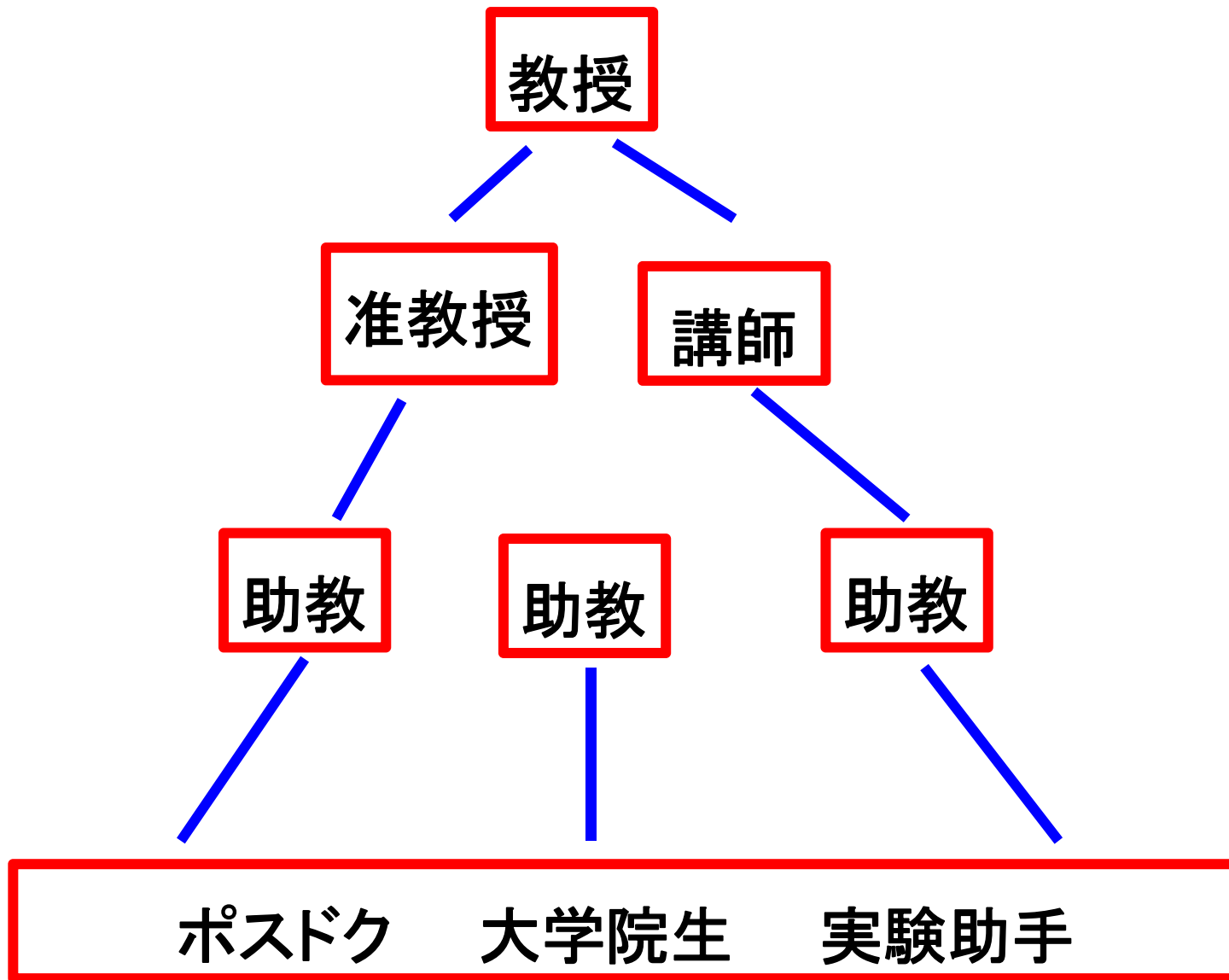
海外留学のすゝめ

- 自己紹介 対象
- 医学英語は必要か？ 医学生
- 医学研究留学とは？ 若手医師
- 日米の医学部のシステムの違い 留学医師・研究者
- アメリカで教授になるには？ アメリカの医学教育 助教から学長
- 近大医学部留学プログラム 医学部志望者・医学生

日本の医学部講座のシステム

- 医学部卒業・研修終了
- 大学院 4年間
- 博士研究員(ポスドク)・海外留学
- 助教
- 講師
- 准教授
- 教授

日本の医学部講座のシステム



アメリカの医学講座のシステム

- 学部卒業

- 大学院 5-7年 PhD取得 **または** 医学部 MD取得

PhDかMDを取得。稀にMD・PhDコースを選択して両者を取得

- 博士研究員（ポスドク） 3年

日本の医師は学位の有無にかかわらずここから

- リサーチ・アソシエイト あるいは二度目のポスドク 3年

- アシスタント・プロフェッサー 6年任期制

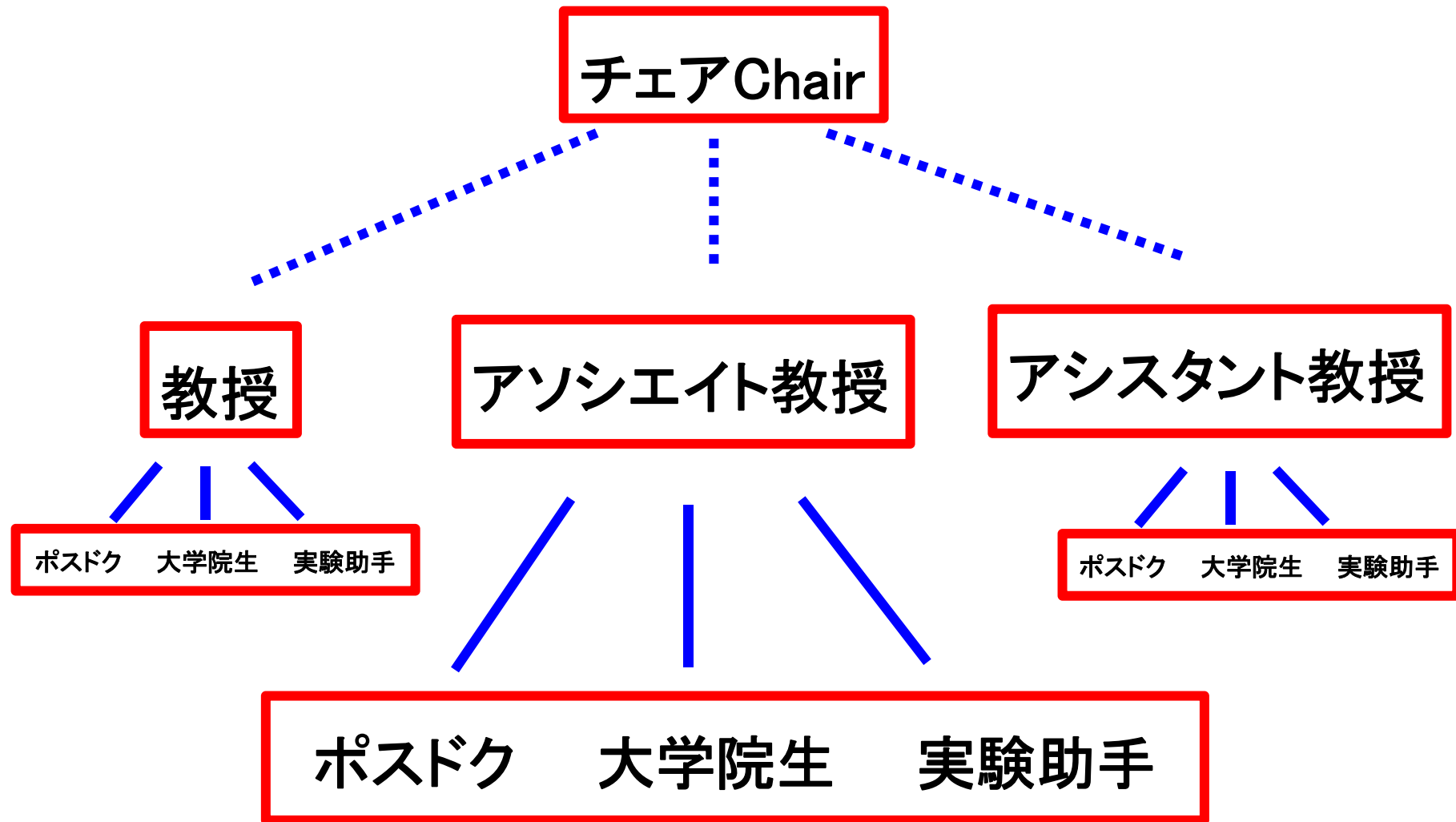
- アソシエイト・プロフェッサー 終身雇用 最低6年

- (フル)プロフェッサー (教授)

ファカルティ
主任研究員
Principal
Investigator
= PI

(チェア Chair 講座のPIのリクルート・財産管理など)

アメリカの医学部講座のシステム



ルイジアナ州立大学医学部微生物学・免疫学講座 31

主任研究者(教授陣)

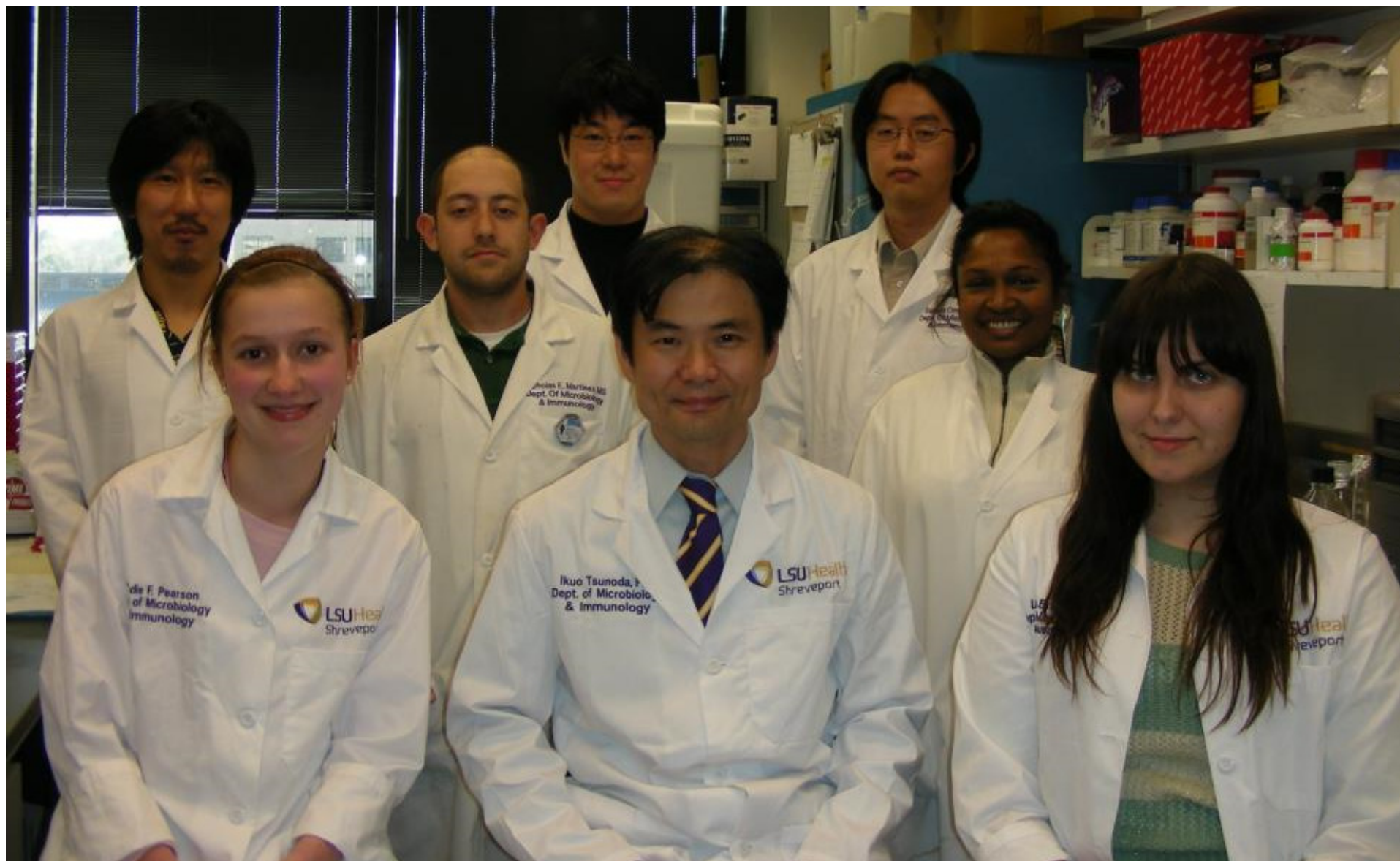


ルイジアナ州立大学医学部微生物学・免疫学講座 32 大学院生



ルイジアナ州立大学医学部微生物学・免疫学講座 33

角田研究室





Page

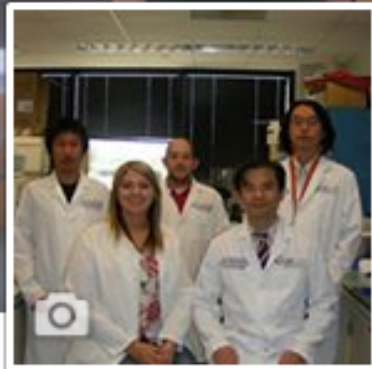
Messages

Notifications 2

Insights

Publishing Tools

Sett



Tsunoda laboratory Medical Research

Timeline

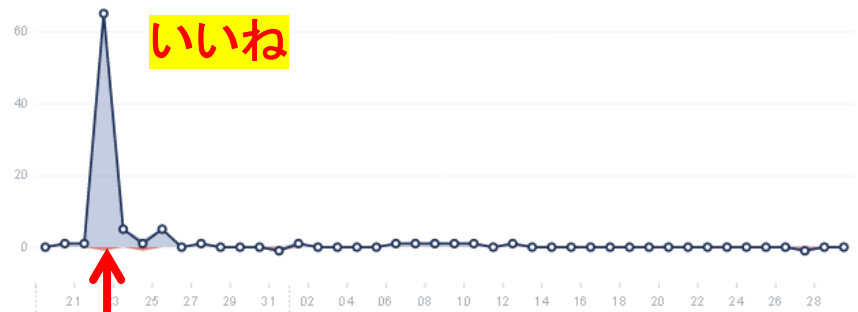
About

Photos

Net Likes
Net likes shows the number of new likes minus the number of unlikes.

66 new Likes

Unlikes Organic Likes Paid Likes Net Likes



477 likes 0 this week

Natsumi Kawai and 151 other friends



232 were here 0 this week



Reach a new milestone

500 Likes

Promote Page

Status



Write

7/22/2015 角田医学部講義

80615 — with Kendra

海外留学のすゝめ

- 自己紹介 対象
- 医学英語は必要か？ 医学生
- 医学研究留学とは？ 若手医師
- 日米の医学部のシステムの違い 留学医師・研究者
- アメリカで教授になるには？ アメリカの医学教育 助教から学長
- 近大医学部留学プログラム 医学部志望者・医学生

アメリカ医学部教員の三つの道

- テニユア・トラック

アシスタント教授として雇用

全国公募： 100人に1人が採用

研究・教育・管理運営の三ポイントで評価

6年間の任期（基本的に昇進させるための制度）

評価項目達成で終身雇用(テニユア)アソシエイト教授に

大学・講座のシニア・メンバーはテニユア取得を支援

大学がスタートアップ支援(数千万円)

- クリニカル・トラック: 臨床を中心に行う教員

- リサーチ・トラック: 研究を中心に行う教員

Inflammation in infectious diseases

New Friends Laboratory, Louisiana State University



2013 MICROBIOLOGY & INFECTIOUS DISEASES

Lecture 11

Ikuro Tsunoda, MD, PhD

www.lsu.edu/~tsunoda/immunology_lab.html

2013



アメリカの医学生による医学教育評価

Microbiology and Infectious Diseases Evaluation Week 1 - 2012

Tsunoda

- Concise and informative. Exactly what we need.
- Great at simplifying material.

Review: Humoral Responses to Infection (10) Dr. Tsunoda

answered question	85
skipped question	0

	Response Percent	Response Count
1 Unsatisfactory	7.1%	6
2 satisfactory	60.0%	51
3 excellent	29.4%	25
4 did not attend	3.5%	3

アメリカの医学生による医学教育評価

2012年 微生物学・感染症学 評価 角田

Microbiology and Infectious Diseases Evaluation
Week 1 - 2012

Tsunoda

- Concise and informative. Exactly what we need.
- Great at simplifying material.

Review: Humoral Responses to Infection (10) Dr. Tsunoda

感染症に対する液性免疫（10）角田先生

	85
skipped question	0

			Response Percent	Response Count
1 Unsatisfactory	1	不満	7.1%	6
2 satisfactory	2	十分	60%	51
3 excellent	3	素晴らしい	29%	25
4 did not attend	4	欠席	3.5%	3

Please provide constructive comments for Dr. Tsunoda. Limit 4 sentences.

40

角田先生に建設的なコメントをお願いします

Dr. Tsunoda

いい仕事

- Excellent job of teaching the relevant materials and giving good examples. Also loved the sample board questions he included with the lectures.

- Difficult to understand, but he did clarify what was important to know for these two lectures.

よい先生

- Very effective lecturer. Highlights the important parts, and makes material understandable.

- Thanks for the practice questions!

- I couldn't understand him very well. It was very difficult to get through the lectures.

- Difficult to understand accent.

- I Podcast 100% of lectures and I could not get anything out of his. There would be times when I could understand sentences at a time. Very nice guy, but difficult to understand.

- Thick accent you have there! But I enjoyed the lectures.

- The sample questions and humor were appreciated.

- Instructor took great effort in providing practice questions, and the slides are very concise and easy to understand.

- Dr. Tsunoda was a very good lecturer. I liked that he brought a little of her personality and outside interests into it -- it makes the experience more memorable and actually helps me to remember the lecture's content better.

- Great lectures! I really appreciate the effort you put into researching what material and types of questions are commonly found on the USMLE exams. Thanks!

国試をカ
バー

Please provide constructive comments for Dr. Tsunoda. Limit 4 sentences.

41

角田先生に建設的なコメントをお願いします

Dr. Tsunoda

- Excellent job of teaching the relevant materials and giving good examples. Also loved the sample board questions he included with the lectures.
- Difficult to understand, but he did clarify what was important to know for these two lectures. 理解困難、要点は強調はできてるんだけど
- Very effective lecturer. Highlights the important parts, and makes material understandable.
- Thanks for the practice questions!
- I couldn't understand him very well. It was very difficult to get through the lectures. 彼の講義はよく理解することができなかった。講義を最後まで聞くのは大変苦痛
- Difficult to understand accent. なまっていて理解困難
- I Podcast 100% of lectures and I could not get anything out of his. There would be times when I could understand sentences at a time. Very nice guy, but difficult to understand.
- Thick accent you have there! But I enjoyed the lectures. あんたのなまりはヒドイ！でも講義は楽しかったよ。
- The sample questions and humor were appreciated.

ウェブで講義を100%見たんだけど、彼の講義からは全く何も得られなかった。時々、聞き取れることが何度かはあったけどね。とてもいい奴なんだけど理解困難。

material and types of questions are commonly found on the USMLE exams.
Thanks!

遅発性ウイルス感染症

Slow Viral Diseases

August 29, 2012

MID # 97

Ikuo Tsunoda, MD, PhD

Assistant Professor

Department of Microbiology and

Immunology

LSUHSC

E-mail: itsunoda@hotmail.com

<http://tsunodalaboratory.web.fc2.com/>



Dr. Tsunoda

- Excellent job of teaching the relevant materials and giving good examples. Also loved the sample board questions he included with the lectures.
 - Difficult to understand, but he did clarify what was important to know for these two lectures.
 - Very effective lecturer. Highlights the important parts, and makes material understandable.
 - Thanks for the practice questions!
 - I couldn't understand him very well. It was very difficult to get through the lectures.
 - Difficult to understand accent.
 - I Podcast 100% of lectures and I could not get anything out of his. There would be times when I could understand sentences at a time. Very nice guy, but difficult to understand.
 - Thick accent you have there! But I enjoyed the lectures.
 - The sample questions and humor were appreciated.
 - Instructor took great effort in providing practice questions, and the slides are very concise and easy to understand.
 - Dr. Tsunoda was a very good lecturer. I liked that he brought a little of her personality and outside interests into it -- it makes the experience more memorable and actually helps me to remember the lecture's content better.
 - Great lectures! I really appreciate the effort you put into researching what material and types of questions are commonly found on the USMLE exams. Thanks!
-

微生物学・感染症学 評価

Microbiology and Infectious Diseases Course Evaluation
Week 7 - 2012

Slow Viral Diseases (97) Dr. Tsunoda

遅発性ウイルス感染症 (97) 角田先生

skipped question

TSUNODA

角田

91

7

Response
Percent

Response
Count

1 Unsatisfactory

1 不満

0.0%

0

2 satisfactory

2 十分

22.0%

20

3 excellent

3 素晴らしい

72.5%

66

4 did not attend

4 欠席

5.5%

5

Microbiology and Infectious Diseases Course Evaluation Week 7 - 2012

Dr. Tsunoda

- 素晴らしい
- Outstanding! Can we please also have this lecture during Neuro block? Repetition is always good and I wouldn't have minded having this lecture material more than once.
 - Dr. Tsunoda, I appreciate the time and effort that you put into your lectures and in providing us with sample USMLE questions to practice. Thank you for your enthusiasm when teaching and for providing us with both interesting and useful information!
- いい先生
- Splendid!
 - Very good instructor; explained the material very well.
 - Think he handled the situation with the comments on his accent very well and kept a very nice professional tone throughout speaking on the issue. Really enjoyed how he put more of a clinical spin on the diseases he was teaching.
 - Dr. Tsunoda is a great lecturer. Maybe one of our class assignments should be to speak about immunology for an hour in Japan, Russia, or China without ever saying a word wrong -- maybe that would give us a little more respect for our superiors. I apologize for us as a group, and you did a great job teaching.
 - I do not have a Facebook account, but if I did I would like your page!
 - Really made a very broad topic clear and concise. Thank you.
- 国試をカ
バー
- Thank you for the practice USMLE questions. I really enjoyed your lecture! It was very interesting.
 - Extraordinarily nice professor.
 - The only lecture I attended. I like your enthusiasm in the subject matters.

Dr. Tsu

英語のなまりに対してのコメントについては、とてもよく対処してたと思う。この問題について語るときは、とてもプロフェッショナルで終始落ち着いてたし。講義は病気の臨床的な側面を盛り込んでいてとっても楽しかった。

- Very good instructor; explained the material very well.
- Think he handled the situation with the comments on his accent very well and kept a very nice professional tone throughout speaking on the issue. Really enjoyed how he put more of a clinical spin on the diseases he was teaching.
- Dr. Tsunoda is a great lecturer. Maybe one of our class assignments should be to speak about immunology for an hour in Japan, Russia, or China without ever saying a word wrong -- maybe that would give us a little more respect for our superiors. I apologize for us as a group, and you did a great job teaching.

角田先生は立派な講師です。うちのクラスの課題として「一言も間違わずに日本、ロシア、中国で一時間免疫学について語る」ってのはどうかな。そうすれば教員に対するリスペクトってのも生まれるかも。クラスを代表して謝罪します。素晴らしい講義でした。



クラスメイト数名が、あなたの英語のなまりについてコメントしたことにとっても困惑しています。確かに、あなたはなまってるけど、彼らが日本に行って難しい講義をしたら同じことになるはず。私はあなたの講義も、あなたが教授であるのも嬉しいわ。ありがとう。

- I am so very embarrassed by the comments that some of my classmates gave you about your accent. Sure, you have an accent, but so would they if they went to Japan to teach difficult material. I enjoy your lectures and having you as a professor. Thank you.
- The sample USMLE questions are very helpful.
- I love you. You're a fresh breath of air.
- I really enjoyed and learned a lot from your lecture. Thank you!
- Thanks for taking the time to research common questions asked on the USMLE.
- Dr. Tsunoda was one of my favorite lecturers from the entire course.
- I really liked the images and videos used throughout the lecture. I usually end up googling all of these viruses and diseases myself to see what they look like, so I appreciated having the links and information right there in the PowerPoint.
- People who can't understand Dr. Tsunoda are not going to be able to understand half of their patients. Anyone complaining about that needs to grow an ear or two.

角田先生が喋ってることをわかんない人は、将来半分の患者さんの言うことを理解できないね。あんな文句をいう奴は、耳をもう一つか二つ生やす必要あるよ。

Microbiology and Infectious Diseases
Week 1 - 2013

Review: Humoral Responses to Infection Dr. Tsunoda

answered question

110

skipped question

0

			Response Percent	Response Count
1 Unsatisfactory	1 不満	0.9%	0.9%	1
2 satisfactory	2 十分	26%	25.5%	28
3 excellent	3 素晴らしい	69%	69.1%	76

欠席 ゼロ

Dr. Tsunoda

- Awesome. You focused on what was important.
- His lectures were great.
- Great teacher, good humor! Questions at end were helpful.
- Extremely interactive with Class. Goes above and beyond to show useful summary videos for his lectures.
- I appreciate that Dr. Tsunoda took time to go over some case studies with us during the lecture. Those really helped me solidify the lecture's material conceptually.
- Enthusiastic!
- I love that he took the time to select the pertinent questions from the review books - it was very helpful to be able to test myself to see how well I understood the material!
- This guy is the MAN! He makes a point to explain what is important rather than making the class guess. He is tough to understand sometimes, but his providing of clear understandable material along with supplementary sources is well-worth the effort!
- You kept it straightforward and it is very much appreciated.
- Emphasis on important information for the exam and Step 1 was great! I wish more teachers did this.
- Dr. Tsunoda's lectures were very thorough and organized very well. Dr. Tsunoda's enthusiasm for teaching is visible, and it helps to make the lectures more enjoyable and interesting. Dr. Tsunoda is a great professor!
- Excellent lecture, helpful practice questions, and I enjoyed how you made it clear about what was expected of us.
- 1000 Gold stars and 2000 sapphire antibodies for you! Great job!
- Though is very hard to understand you, your powerpoints are some of the best organized I have ever seen from any professor. Thank you for putting a lot of time and effort into teaching these two lectures, and thank you for giving us sample questions to help us study for Step One!
- Dr. Tsunoda did a really good job of explaining the main points in his lectures. Great teacher!
- Dr. Tsunoda was very enthusiastic, and his PowerPoints were clear and well-organized.
- Thank you for looking at numerous sources for practice questions.
- Good organization.
- Information was presented well. He was a little hard to understand, but the lecture was still good.
- Great lectures, very entertaining and informative.
- Great lectures. I enjoyed the use of humor and movies to help make the important points more obvious and easier to understand.
- He is very excited about his lectures and did a surprisingly good job teaching!
- Good lecture, concepts explained well.
- Very effective and very funny.
- Review questions were very helpful.

喋ってることを聞き取るのはとっても困難だったけど、パワーポイントは今までのどの教授のものよりいいね。

プレゼンが良かった。ちょっと聞き取りにくいけど、講義はそれでも良かった。

U HEALTH UNIVERSITY OF UTAH

FIND A DOCTOR SERVICES LOCATIONS FOR PATIENTS & VISITORS MYCHART SEARCH

SPEECH-LANGUAGE-HEARING CLINIC

801-581-3506
CALL TO SCHEDULE AN APPOINTMENT

Overview Services Providers

TREATING SPEECH, LANGUAGE, & HEARING
DISORDERS

- スピーチ・クリニック
- 言語・聴覚障害の治療
- 原因： 事故による脳障害・脳性まひ・自閉症・外国人

海外留学のすゝめ

- 自己紹介
- 医学英語は必要か？
- 医学研究留学とは？
- 日米の医学部のシステムの違い
- アメリカで教授になるには？ アメリカの医学教育
- 近大医学部留学プログラム

LSU Multiple Sclerosis Research Team



米国ルイジアナ州立大学医学部角田郁生研究室。免疫学、ウイルス学の手法で、神経難病の多発性硬化症、自己免疫疾患、心筋炎を、日本から留学してきた先生スタッフと大学内外の講座と共同研究。

LSU Microbiology lecture 2013 Medical Student evaluation

This year, I gave lectures for Medical Students at Louisiana State University (LSU) Health Sciences Center, Shreveport. In the first week, I talked about "1) Review: Humoral Responses to Infection" and "Review: Inflammation in Infectious Diseases." After my lectures, I have a lot of feedback from Medical Students, by Facebook and e-mails.

Below is a Student evaluation form in my previous lecture; all comments were excellent and helpful for me. I expect that students will provide me enthusiastic feedback for my Slow Viral Diseases lecture.

Ikuo Tsunoda

ルイジアナ州立大学医学部微生物学・感染症学講義 医学生評価

私はルイジアナ州立大学医学部で、微生物学・感染症学の講義を担当しております。今週は、遅発性ウイルス感染症のタイトルのもと、プリオン（狂牛病, *Kuru*, *Scrapie*）を含む病気をビデオを混じえて講義いたしました。

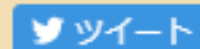
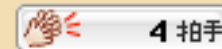
当大学では、医学生は講義の後に、講師の評価をすることになっており、講師は、その評価を見て講義内容の見直しをすることができます。以下が、私の前回の感染症における液性免疫と炎症に関する二つの総論の講義の評価です。医学部の学生は、大変、熱心で、ユーモアのセンスがあり、講義をするモチベーションが高まります。

角田 郁生

Review: Humoral Responses to Infection Dr. Tsunoda	
answered question	110
skipped question	0
Response Percent	Response Count

微生物学講座ブログ

ルイジアナ州立大学 ➡近畿大学



Kindai University Department of Microbiology



近畿大学医学部微生物学講座角田郁生研究室。免疫学、ウイルス学的手法で、神経難病の多発



- にほんブログ村
- 海外ブログ
- にほんブログ村
- ブログ村
- にほんブログ村
- 病気ブログ
- にほんブログ村
- BlogMURA
- にほんブログ村

Profile



Author: Ikuo Tsunoda
 近畿大学医学部微生物学講座
 でウイルス感染症、神経難
 病、自己免疫疾患の研究と教
 育をしています。
 We are studying multiple

近畿大学医学部 “金剛祭” 2018年11月3-4日

近畿大学医学部では、2018年11月3-4日に恒例の学園祭である“金剛祭”を開催しました。医学部3年生が実行委員を務め、1-2年生が模擬店などのイベントを担当します。

今年も医学関連の展示物に加え、クラブが中心となって行われる華道部、茶道部などの展示、パフォーマンス、模擬店などが行われました。

写真は近大微生物学講座のFacebookで。

角田郁生



Flower arrangement club exhibition in "Kongo-sai". From left to right: Medical Students Ms. Takako Oda and Ms. Sayo Morita, and Dr. Ikuo Tsunoda, Professor of Microbiology

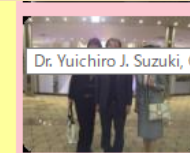


👍 1 拍手 🐦 ツイート ✓ いいね! 1



Dr. Yuichiro J. Suzuki,

👍 1 拍手 🐦 ツイート ✓ いいね! 1



Dr. Yuichiro J. Suzuki, Georgetown Univ

Facebook

Ikuo Tsunoda

facebook



海外留学のすゝめ

- 自己紹介 対象
- 医学英語は必要か？ 医学生
- 医学研究留学とは？ 若手医師
- 日米の医学部のシステムの違い 留学医師・研究者
- アメリカで教授になるには？ アメリカの医学教育 助教から学長
- 近大医学部留学プログラム 医学部志望者・医学生

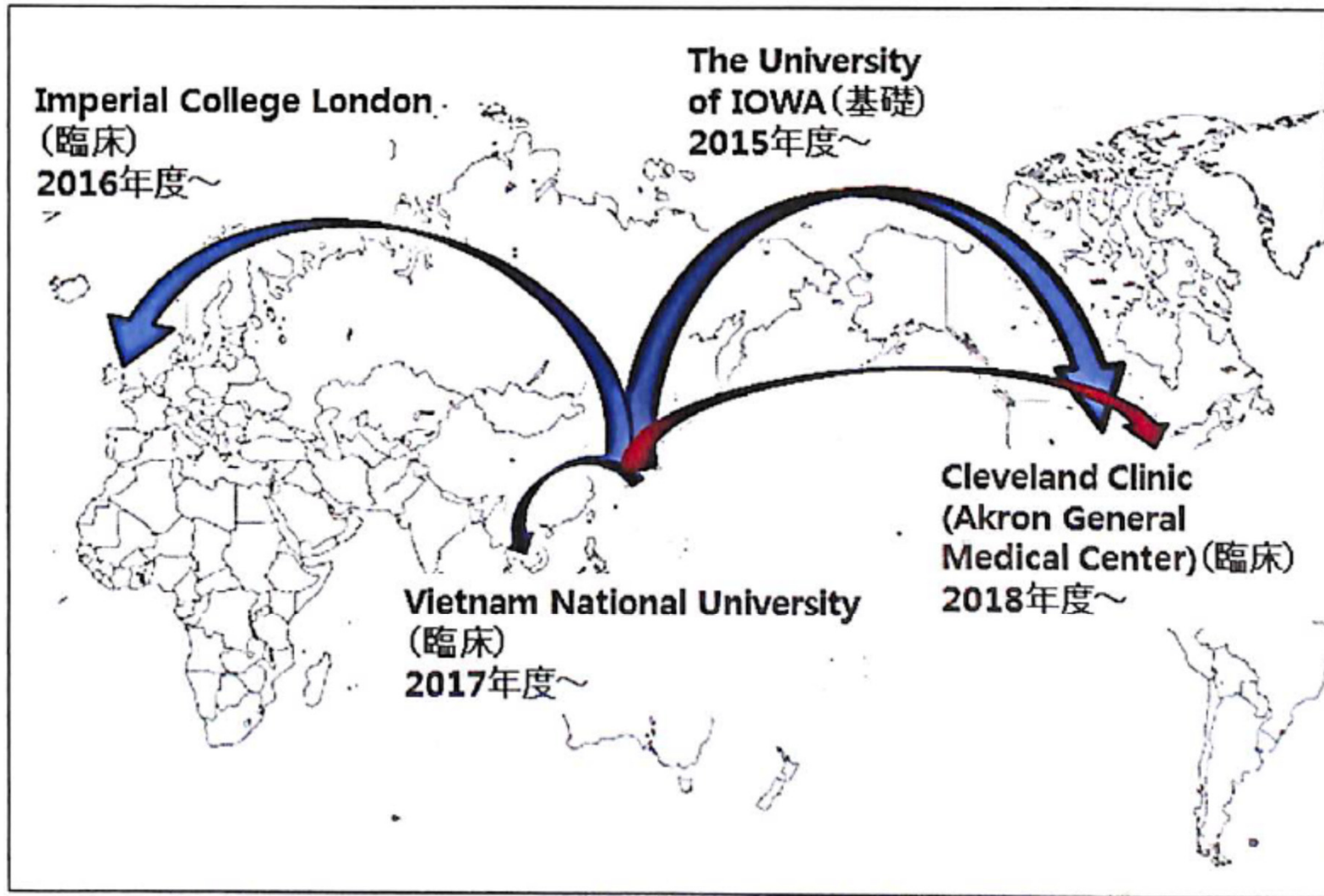
1987年の写真

55



近畿大学医学部留学コース

派遣先	区分	人数	期間	時期	申込	条件	開始
アイオワ大 学(米)	基礎	2-3	3週間	2-4年生 夏休み	4-5月	授業成績 TOEFL	2015
インペリア ル・カレッジ・ ロンドン(英)	臨床	2-3	2週間	5-6年生 春休み	10月末	授業成績 TOEFL	2017
ベトナム国 立大学	臨床	4	2週間	5-6年生 春休み	10月末	授業成績 TOEFL	2018
クリーブラン ド・クリニック (米)	臨床	4	未定	未定	10月末	授業成績 TOEFL	2019
IFMSA 世界126カ国	基礎 臨床	2-4	4週間	1-6年生 春休み 夏休み	派遣1年前 自己負担 8万円	なし または TOEFL	1951(世界) 1961(日本)

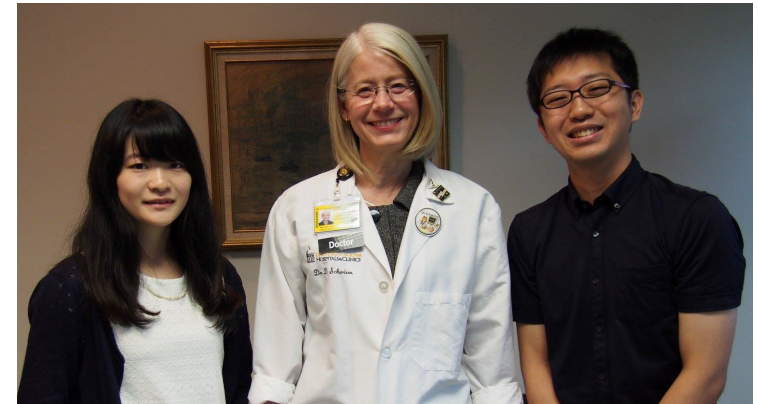


近大医学留学 アイオワ大学プログラム



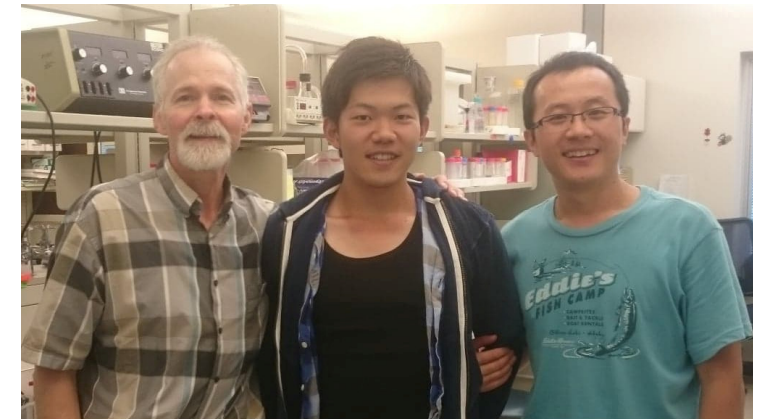
- 第1回 2015年

山口実賀 磯矢嵩亮(近畿大医学雑誌
第40巻3,4号 101-106、2015)



- 第2回 2016年

飯塚昇 平井貴士 竹原賢作(近畿大医
学雑誌 第41巻3,4号 103-110、2016)



- 第3回 2017年

水森祐樹 中村ゆう子(近畿
大医学雑誌 第42巻3,4号 145-154、
2017)

第1回 近畿大学医学部 アイオワ大学研修プログラムに参加して

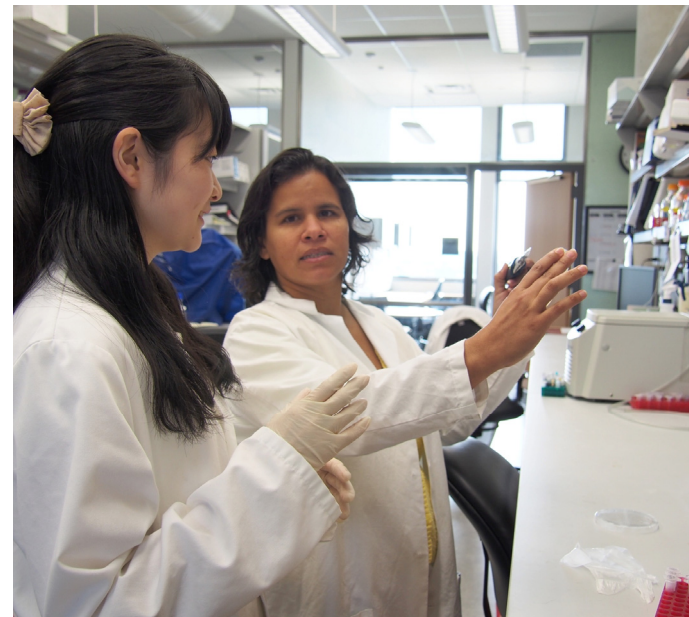
研修期間:2015年8月2日～8月29日(4週間)



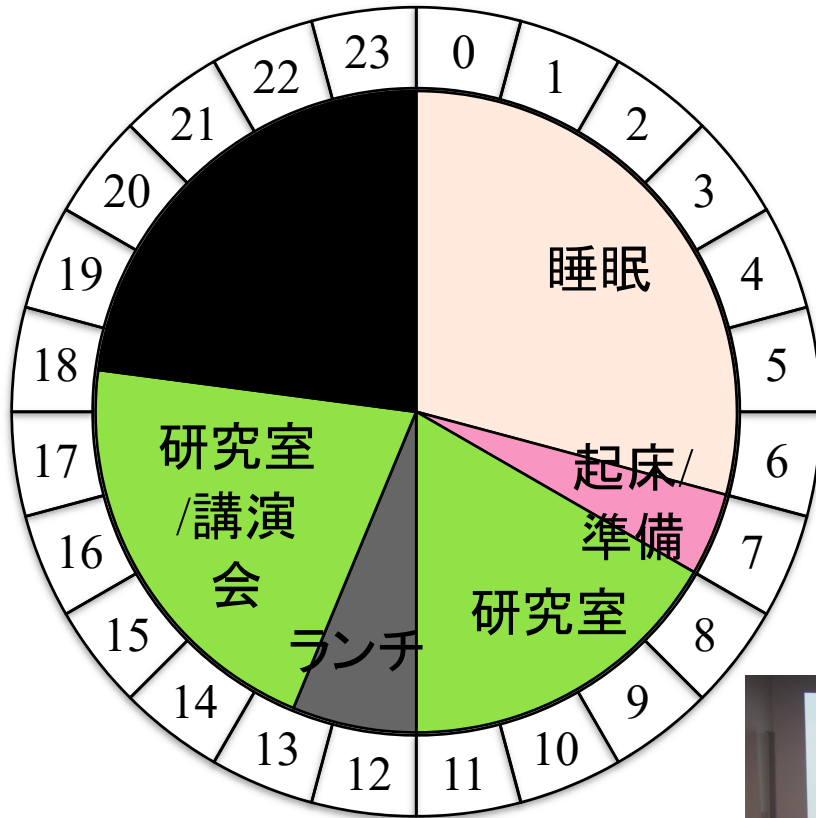
医学部6年
山口実賀

アイオワ大学留学プログラム

- 目的: 学生の間から海外の医学研究・医学教育に触れることにより、将来医師として国際感覚豊かな、そして幅広い視野を持つ人材を育成すること



アイオワでの1日(平日) をご紹介します(^^)/

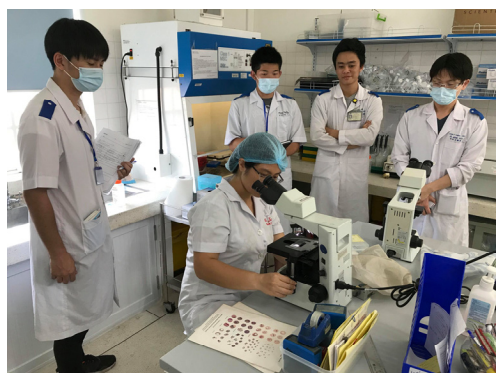


近大医学留学 ロンドン研修プログラム



- 第1回 2017年 前田華菜 遠藤みどり(近畿大医学雑誌 第42巻1,2号 41-45、2015)
- 第2回 2018年 垣内駿吾 河村優人 瀬口京介(近畿大医学雑誌 第43巻1,2号 87-88、2018)

近大医学留学 第1回ベトナム研修プログラム 2018年



飯塚昇 坂本洋一 中村雄一 湯沢航平

(近畿大医学雑誌 第43巻1,2号 85-86、2018)

IFMSA 国際医学生連盟 (International Federation of Medical Students' Associations)

- 「すべての医学生がグローバルヘルスのために団結し、将来の医療において地域、そして世界で活躍できるリーダーを育成する」
- 126カ国、130万医学生
- IFMSA-ジャパン 日本支部 58校 「社会貢献や国際社会とのつながりの下、幅広い視野をもった医療人を育成し、よりよい社会を目指す」
- 基礎研究交換留学：日本45名/年 医学研究
- 臨床交換留学：日本90名/年 病院実習
- 費用：8万円 期間：4週間



IFMSA-近大

- IFMSA-近大 1年:11人 2年:17人 3年: 12人
4年:11人 5年:10人 6年:6人 合計:67人
医学部の部活では最大
- 近大からの留学 2019年2人(予定)
- 留学生受け入れ 2018年:4人 (イタリア 2、エルサルバドル 1、デンマーク 1)
- 顧問 角田郁生
- ホームページ
日英二か国語で運営
- フェイスブック

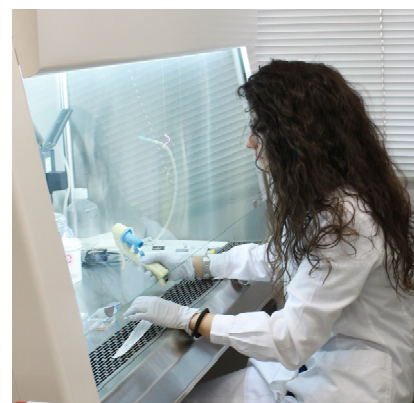
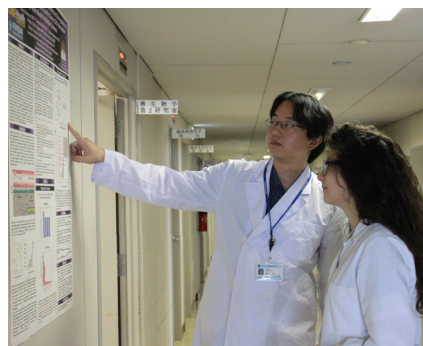


IFMSA-KINDAI-Exchange

IFMSA-近大



エリカ・ペディオさん イタリア バリ大学医学部



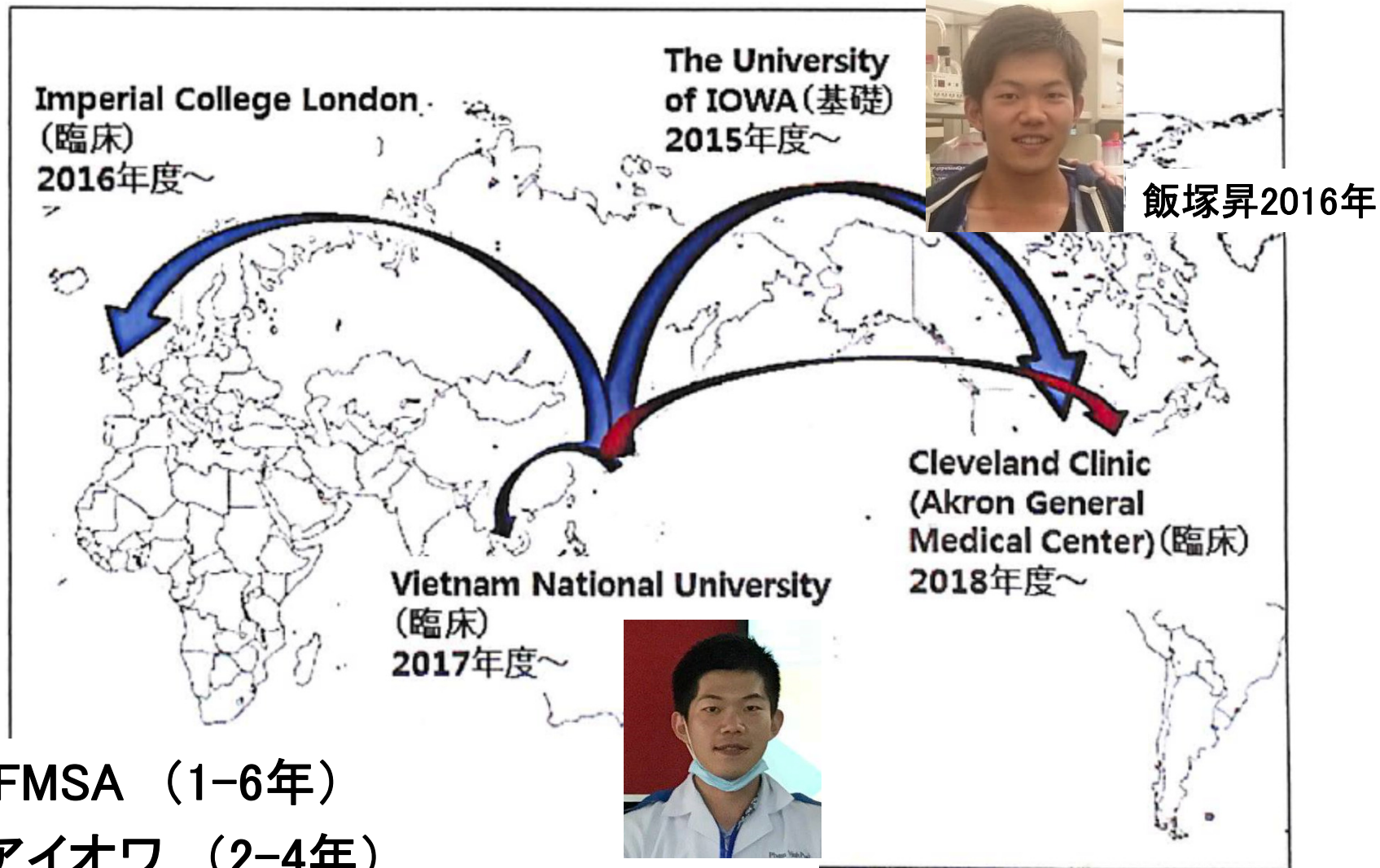
テニス四大大会：グランドスラム



大坂なおみ2018

- ウィンブルドン (イギリス)
- オーストラリア・オープン (オーストラリア)
- フレンチ・オープン (フランス)
- 全米オープン (アメリカ)

近大医学留学グランドスラム



- IFMSA (1-6年)
- アイオワ (2-4年)
- ベトナム (5-6年)
- ロンドン (5-6年) [クリーブランド]

謝辞

- 金剛祭医学展 医学部3年嶋和将主務 岡本 鴻児(こうじ)副主務, 川本真綾, 嶋田剛士
- IFMSA-近大 宮岸麻衣, 加藤正寛, 松本悠佑, 松本亜佑美, 若林嶺, Erika Pedio
- 近大留学生OB/OG 山口実賀, 前田華菜, 湯 沢航平, 磯矢嵩亮, 飯塚昇
- ユタ州立大学 Yoko Y. Elsner
- ユタ大学 Robert S. Fujinami, Tami Leppert
- ルイジアナ州立大学 Dennis J. O' Callaghan, J. Steven Alexander
- 金沢大学教授 山田正仁
- 岩手医科大学名誉教授 角田文男